



- ✈ 「私たちの未来像」に投資しよう
- ✈ メンバーシップ調査
- ✈ オールドタイマーとは？
- ✈ 仲間たちの絵はがき
- ✈ 使わないでくつろぐひととき

これからもよろしくね!!!



宛先：  
世界中のNAの仲間たち

差出人：  
WCNA 34



世界中で読まれている  
NA の定期刊行物

NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマスのメンバーのための雑誌であるため、英語、ベルシヤ語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語など、さまざまな言語で出版されている。そしてこの雑誌の使命は、ひとりひとりのメンバーに回復とサービスに関する情報を提供することであり、そこには回復にまつわる喜びだけでなく、現在NAで問題となっていることや世界中のNAメンバーのだれにとっても見過ごせないイベントなども取り上げている。編集スタッフはこのような使命に従い、世界中のメンバーが特集記事をはじめとするさまざまな記事を書いて、自由にのせられる雑誌にしようとするのはもちろん、現在行われているサービスやコンベンションに関する情報を提供することにも力を注いでいる。だが、これが定期的にメンバーに届く雑誌であるからには何よりもまず、『アディクトであれば、どんなアディクトであっても、薬物を使うのをやめることができ、使いたいという欲求も消え、新しい生き方を見いだすことができる』というNAの回復のメッセージをたたえることにこそ力を注ぐ。

NA World Services, Inc.  
PO Box 9999  
Van Nuys, CA 91409 USA  
Telephone: (818) 773-9999  
Fax: (818) 700-0700  
Website: [www.na.org](http://www.na.org)

NA Way マガジンでは、読者のみなさんが参加されるのを待ちしている。この年に4回発行される定期刊行物によって、ぜひ、世界中の仲間たちと分かち合いをしていただきたい。回復するなかでの経験はもちろんのこと、NAのさまざまなことに関する意見や、これからの課題などについても投稿をお待ちしている。ただし、投稿された原稿はどれもみな、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社に所有権があるものとされる。購読の予約、編集に対する意見のほか、著作権など実務的なことでの相談は、PO BOX 9999, Van Nuys, CA 91409-9099 にお問い合わせていただきたい。

NA Way マガジンは、NAメンバーがそれぞれに自分で経験したことや自分なりの意見を紹介する雑誌である。ここにはNA全体の意見は表明されていない。そしてもちろん、ナルコティクス アノニマス、NA Way マガジンまたはナルコティクス アノニマス ワールドサービス社によって支持されていると受け取れるような記事も掲載されてはいない。また、インターネットからNA Way マガジンを配信することを希望する場合には、上記のアドレスに手紙をいただくか、[naway@na.org](mailto:naway@na.org) にeメールをいただきたい。

NA Way マガジン (The NA Way Magazine: ISSN 1046-5421)、NA Way (The NA Way)、ナルコティクス アノニマス (Narcotics Anonymous)、この3つは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社のトレードマークとして商標登録されている。NA Way マガジンは、ナルコティクス アノニマス ワールドサービス社 (19737 Nordhoff Place, Chatsworth, CA 91311) によって、年に4回発行される。

編集者から、ひとこと

『第一にすべきは全体の福利である。個人の回復はNAの一体性にかかっている』

第34回WCNA (NAワールドコンベンション)のテーマは「心をひとつにして」。わたしは、このテーマにぴったりの文章をNAの文献から拾い集める手伝いをしたのだが、そのときにはまとめてざっと目を通しただけだった。そこで今さらながら、そうやって書き出した文章をひとつひとつじっくりと読んでいった。

『一体性とは、世界中にいる何十万人ものメンバーをこのスピリチュアルな集まりにつなぐ、生き方を変える力をもつ精神のことだ』

『私たちは一体性を感覚や状況によってとらえることが多いが、一体性とは自然に「生まれる」ものではない。全体の福利の基盤となる一体性を生むためには、一人ひとりが深く関わり、責任ある行動をとらなければならない』

『一体性が大事だからこそ、グループは、自分たちだけの小さな世界から、世界に広がるNA全体が必要とするものに目を向け、グループのことよりも全体の福利を優先させることができるのだ』

『なぜ、どのように効果があるのか』 [伝統 1]

この章だけでもまだ引用はつづくのだが、ここまで読んで、わたしたちがNAのメッセージを運ぶ方法はいくらでもあることに思い至り、胸がいつぱいになった。ホームグループで新しい仲間をあたたかく迎えること。エリアのなかでイベントを企画して、回復を祝う(と同時に、使わなくても楽しくやれることを、つながったばかりの仲間たちに示す)。NAのメッセージを運ぶことに役立つため、伝統7による資金の配分について熱心に話しあい、そこで示されたグループの良心を謙虚に受けとめて支持すること。一生懸命ステップを実行し、お手本になる仲間を見習うこと。つまり、わたしたちはそれぞれに回復の道歩んでサービスに取り組むなかで、学び、成長し、このような行動をとるようになっていく。それによってNAという仲間の集まりも「心をひとつにして」きずなを深めていくようになるのだ。

『メンバーひとりひとりが強くなった分、NAも強く団結する』

『なぜ、どのように効果があるのか』 [伝統 2]

ド・J (エディター)

今月号の掲載記事

<b>特集記事</b>	<b>メンバーシップ調査</b>	11
・オールドタイマーとは?	<b>仲間たちの絵はがき</b>	16
<b>ユーモア</b>	<b>サービスシステムプロジェクト</b>	18
<b>検討すべき課題</b>	<b>プランニング ベーシックス</b>	19
<b>カンファレンスアジェンダレポート</b>	<b>Living Clean Update</b>	20
<b>わかちあい</b>	<b>インターネット時代に適したサービスパンフレット</b>	20
・プエルトリコでの17年	<b>NAワールドサービスのみなさんへ</b>	21
・砂嵐	<b>Calendar</b>	22
・使わないでくつろぐひととき	<b>NAWS Product Update</b>	23
<b>「私たちの未来」に投資しよう</b>		

NA Way マガジンでは、読者のみなさんからののお便りをお待ちしている。掲載された記事に対する感想はもちろん、NAという集まりのなかで取り上げられている問題についてひとつの考え方を示すにすぎないものであっても、エディター宛に送っていただきたい。250字以内にまとまっていれば、そのまま編集の手を加えずに掲載されることになっている。お便りには、本名、現在使われている住所および電話番号を明記することをお忘れなく。掲載される場合には、アノニマスでという希望がないかぎり、ファーストネームと苗字のイニシャルを署名として用いることになる。

## オールドタイマーとは？

私は、N Aプログラムの<sup>ていあん</sup>提案に忠実であろうとしているうちにクリーンタイムが20年になり、視野も広がったところで、かねてより気になっていたことをじっくり考えてみた。N Aにつながったアディクトは、回復の道を行んでどのぐらい経つとオールドタイマーになるのだろうか。クリーンタイムが1年を迎えたとき、私はもう経験豊かなメンバーになっていたのか。2年、3年、4年、はたまた10年ではどうか。オールドタイマーというのは、クリーンタイムが40年以上のメンバーのことなのか。こうして考え出すときりがなかったが、私は黙って思いをめぐらせていただけで、ミーティングや、仲間同士の話、スポンサーとのやりとりなどでこういう疑問を投げかけたことはなかった。

単なる好奇心によるものであったため、深く考えることもなくなり、12のステップを日々の生活に生かしながら回復の道を進み続けた。そして、またたく間に私はN Aで20年目のクリーンタイムを迎えた。すると、かつてあれこれ考え、そのまま記憶に埋もれていた疑問がふたたび頭をもたげてきた。歳からいっても私はもう「若くはない」し、「老人」と呼ばれてもおかしくはないと思う。そんなある日、ホームグループのミーティングで出席者のひとりが、自分より古いメンバーたちを指して「このようにN Aで立派に年数を重ねてきた人たち」と言った。このとき、自分が笑い飛ばしたか、聞き捨てならないという態度をとったかは覚えていない。いずれにしろ、こんなふうに言われるのには慣れていなかった。実感ももてなかった。

N Aのプログラムにそって生きることで私は人間らしい生活ができるし、そういう姿を見せることができれば、娘も生まれたばかりの孫息子も、私と結婚することで人生を棒に振ってくれた妻も、もう肩身の狭い思いをすることはない。だが、過去をきちんと振り返れるようになったからといって、過ちを犯さなくなるわけではない。私は今でも、自分ができなかったことやしてしまったことのせいで人々を悲しませてしまうことがある。こうしていつまでも過ちを重ねて謝ってばかりいるのはなんともつらいことだが、それが現実というものだ。私はこれでも「古いメンバー」の端くれだとは思いますが、長老などではない。それなりに年数を重ねても、自分の性格の欠点からはとんでもないものが生じてくることを、いやというほど思い知らされているからだ。それは、なんとか心の闇に鎖でつないでおこうとしても、機を見ては鎖を断ち切って姿を現す。そうすると、私は人になじむようにふるまい、多くのものを傷つける。もちろん、N Aプログラムに従っているかぎり自由に生きられるし、私は実際にそうやって人生の道のりをかなりのところまで歩んできた。それでもたまにこうしてタガが外れてしまい、頑として変わらない現実にもぶちあたるのだから、その衝撃の大きさははかりしれないものがある。私は傷つき、心の平安を失う。このような状態に落ち着きをもたらす、心の平安を取りもどす助けになるのは、ステップ11を実践することをおいてはほかにはない。それによって私は、自分が回復の道を進むひとりのアディクトであり、ただの人間でしかないのだということを忘れないでいられるのだ。

では、オールドタイマーとは何者なのか。私が思うには、N Aにつながって何年も回復の道を行んでいるというだけの存在ではないだろう。謙虚で前向きな姿勢があり、N Aプログラムによる提案をよく理解し、自分のことわれから解放されるには提案に従うしかないことがわかっているアディクトのことだ。つまり、オールドタイマーになる第一の条件は、『私たちはアディクションに対して無力であり、生きていくことがどうにもならなくなったことを認めた』（ステップ1）という提案を受け入れることである。これができてはじめて、わたしたちは心を開き、落ち着いて耳を傾け、12のステップを活用していく。そうやってN Aプログラムによってもたらされる自由を理解するようになった仲間たちは、なるべくしてオールドタイマーになるのだ。

ゴンザロ・S (コロンビア/ボゴタ)



# あるミーティングで 耳にしたこと

ミーティングを始めるときにはいつも、「初めて参加する人や、今日からもう一度はじめる人はいますか」って聞くだろ。それなら、「もうそろそろ出ていくという人はいますか」って聞いてみるのもいいんじゃないかな。

すぐ楽になりたいなら、『平安の祈り』でもとなえてみれば？

「あたしは、アディクトのメアリー。テーマは、謙虚さ？ パスだわ・・・」。

50歳ぐらいのメンバーによるわかちあい。「これはヤングのミーティングだけど、俺も気持ちちはヤングだから参加する資格があるな」

ミーティングの最中に、メンバーの椅子がひっくり返ったことを受けて、「やあ、ぼくはボフ。やっぱり重力にはかなわないなあ〜」

スリ・B (インド/ムンバイ)



WCNA 34、ベン・C (アメリカ合衆国/メリーランド)

# 検討すべき課題

みなさんもご存じのとおり、前回のWSC（ワールドサービスカンファレンス・NA世界サービス会議）では、次回までの2年間の間に検討すべき課題（IDP イシューディスカッショントピックス）がいくつか決められた。これは、NAメンバーたちから提起された特定の問題や関心事項について、NA全体で話しあう気運を高めるためである。そしてまた、IDP（検討課題）を決めることは、私たちがNA全体で話しあうべき問題についてさまざまなアイデアや意見を収集する方法にもなるため、『ビルディング ストロング ホームグループ（しっかりしたホームグループをつくる）』というワークシートや、サービスに関するパンフレット類など、新しいツール（道具）をつくるうえでも役立つことになる。

2010年から2012年までの2年間に設けられたIDP（検討課題）は、これまで2年ごとに設けられたものとは異なり、2010年のWSC（ワールドサービスカンファレンス）で承認されたばかりの新しい資源をNAメンバーたちに周知するために設けられたものだ。それは以下の4つである。

- ・「NAのサービスにたくす未来」
- ・『イン タイムズ オブ イルネス（病気のときに）』改訂版
- ・IP # 24 『マネー マターズ：セルフ サポート イン NA』（『お金の問題：NAの経済的自立』）
- ・IP # 28 『ファンディング NAサービス』（『NAのサービスに資金を提供する』）

この新しい4つの資源について関心を高めるべく、私たちはセッションの資料をつくった。このような資料があれば、リージョンの代表やNAの信頼される僕となっているメンバーたちはそれぞれの国や地域でワークショップを行うことができるだろう。ここに掲載した資料は、

[www.na.org/?ID=2011\\_IDT](http://www.na.org/?ID=2011_IDT) で入手可能になっている。

## 「NAのサービスにたくす未来」

「NAのサービスにたくす未来」はサービスシステム プロジェクトの一環として展開されるものであり、2010年のWSC（ワールドサービスカンファレンス）で「NAワールドサービスの理念」に代わるものとして満場一致で承認された。「NAワールドサービスの理念」と大きく異なる点は、サービスの展望が広がり、NAグループに提供するサービスをはじめとしてNAのサービス全般に生かせるものとなったことである。こうして新たに承認された理念によって世界中のNAメンバーやサービス機関のやる気が高まり、NA全体の結束が強まることを願ってやまない。

このテーマで話しあうセッションは、メンバーたちがNAの理念に掲げられていることをひとつひとつ吟味する機会となるだけでなく、メンバーがそれぞれに把握したことを、理念の実現にむかって取り組むうえでメンバーが担う役割や、グループまたはサービス機関の果たすべき役割にどう生かすかを話しあう機会にもなる。

『イン タイムズ オブ イルネス（病気のときに）』改訂版（注：ここでいう病気とはアディクション以外の身体的、精神的な病気のことで）

2010年WSC（ワールドサービスカンファレンス）では上記のほかにも、『イン タイムズ オブ イルネス（病気のときに）』というブックレットの改訂が満場一致で承認された。これは特定の病気によってさまざまな問題を抱えているメンバーたちを援助するためにつくられたもので、初版と同じくさまざまな項目に分けられている。初版の内容はほとんどそのまま収められているが、扱うテーマを広げて再編集された。改訂によって新たに加わった項目には、次のようなものがある。

- ・精神面での健康問題
- ・慢性的な病気
- ・慢性的な痛み
- ・末期の病気
- ・病気を抱えるメンバーたちへの支援

そしてまた、メンバーたちが自分の病気のことや、回復するなかでの投薬または救急医療（緊急時の治療）について、医療の専門家たちに伝えるべきことを伝えられるようにとの思いから、このブックレットでは項目ごとの内容にも最新情報がひろく掲載されている。

これをIDP（検討課題）とするセッションによって、メンバーたちは改訂版にある項目をひとつひとつ見直しながら、それに関連するさまざまな状況について話しあう機会が与えられる。



Please join us for discussions on these topics at WCNA 34 World Board Forums!

さまざまな問題を検討することで、メンバーたちにブックレットの内容や自分の体験を活用してもらい、病気、ケガ、投薬への対処法や、病気によって困難に直面しているメンバーたちを支える方法を考えていく。

### Self-Support Sessions 経済的な自立に関するセッション

2010年のWSC（ワールドサービスカンファレンス）では、新たに2種類のIP（インフォメーションパンフレット）が承認された。これはいずれも、NAのメッセージを運ぶために必要なサービスに資金を提供するうえで、私たちが絶えず困難に直面しているという事実に向き合ってもらったためにつくられたものである。私たちに金銭について口にするのをはばかれる傾向があるので、NAでは経済的な自立がむずかしい検討課題になりかねない。実際に多くの地域では、NAのサービスへの支払いをメンバーによる献金でまかなうのではなく、イベントなどの資金集めの催しや文献の販売に頼っている。だが、ワークショップが開かれるたびに、NA全体の意識を高めないかぎりメンバーの献金による貢献度は向上しないという声を耳にしていることもあり、IP # 24『マネーマターズ：セルフサポートインNA（お金の問題：NAの経済的自立）』とIP # 28『ファンディングNAサービス（NAのサービスに資金を提供する）』という2種類のパンフレットが、まさにNA全体の自覚をうながすものになることを願っている。

これを検討課題とするセッションは、2つに分けて行われる。

- ・メンバーによる献金をはじめとする経済的な自立の基本方針（原則）と、グループとサービスに対して重点を置くべきことに関する簡単な話し合い。

- ・新しい2種類のIPについてじっくりと意見交換をしながら、この2つのパンフレットにある内容をきちんと把握できるようにする。

どちらの場合も複雑さの度合いやセッションの時間配分などが示され、セッションの概要がわかるようになっているため、ワークショップのまとめ役は参加メンバーに適したセッションを行うことができる。

NA全体に関わる問題や課題は、みんなが集まって話しあいながら取り組んでいくことによって必ず道が開かれるだろう。みんなで知恵を絞って解決を目指すうちに、心はひとつになるのだ。そのためにも、このようなセッションプロファイルが役立つ資源となれば幸いである。そして、サービスの経験があるなしにかかわらず、メンバーたちからの声にはつねに耳を傾けたいと思っている。意見やアイデアがあれば [worldboard@na.org](mailto:worldboard@na.org) へ直接ご連絡いただきたい。



## 2010年 カンファレンスアジェンダレポート

そろそろ2年という時間の区切りがつく。またしても、CAR（カンファレンスアジェンダレポート）の時期が近づいてきた。2012年カンファレンスアジェンダレポートは、英語版が2011年11月28日に発表され、スペイン語版は12月28日に入手可能になる予定だ。今回のCARには、『リビングクリーン』の試案草稿が付録に加えられ、草稿の承認を求める動議も盛り込まれている。

それ以外では、次回のワールドサービスカンファレンスで票決されるNAのサービスシステムに関して、一連の「原則的な合意」が盛り込まれることになっている。そして、この原則的な合意の背景となる情報を提供するため、サービスシステム改革案の最新版も掲載されることになる。CARはカンファレンスの出席者とリージョンにはいつもどおり郵送されるが、NAワールドサービスでの購入や、ワールドサービスカンファレンスのウェブページからダウンロードすることも可能になる。

[www.na.org/?ID=conference-index](http://www.na.org/?ID=conference-index)

## プエルトリコでの 17年

NAにつながったときの俺は、心も身体もすっかり病んで絶望的な状態だった。ラリってわけがわからなくなっていたため、3年も通りをさまよっていたのにその間の記憶がまったくなかった。しかも、パラノイア（妄想状態）で、そううつ病。俺は社会にはキケンな存在とみなされ、病院で一生を終えることになっていた。それでもストリートにいた俺のところにNAのメッセージが届いた。NAの仲間たちがミーティングの話をしてくれて、NAには新しい生き方があるからもう使わないでいられると教えてくれたんだ。そして、俺は入院し、集中的な精神治療を受けることになった。すると、その治療施設へ地元のH & I（病院施設）委員会がやってきた。

ひとりのNAメンバーが、俺のことを信じて、俺のなかにある何かに気づいてくれたんだ。それは俺自身にはわからないものだった。そして、俺のいた施設で開かれるH & I（病院施設）委員会のミーティングに連れて行ってくれた。俺はそこで、ある仲間によるメッセージを耳にして、なんで俺のことを話してるんだと思った。この仲間が話し終わったときに、だれかが俺のことをしゃべったのかと聞くと、この仲間は「自分のことを話したのさ。きみはもうひとりじゃないんだよ」と俺の耳元でささやいた。そして、俺をぎゅっとハグして「施設を出られるようになったときに電話をくれれば、ミーティングに連れて行ってあげるよ」と言った。1994年の3月17日のことだった。それ以来、俺はずっとクリーンでいる。俺はいくつか犯罪を犯していたが、罪を免れた。それは、NAでサービスに関わりながら、スポンサーや支えてくれるグループと一緒に『NAのステップと伝統と概念』を実行したからこそ、可能になったことだ。こうして俺は、社会できちんとやっていけるようになった。クスリを使う必要はない。投薬治療も受けてはいないし、選択の自由もある。

もう、俺の人生は無意味なものではなくなった。ステップを実行すること、ミーティングにきちんと出ること、NAの文献を読むこと、スポンサーシップをとること。どれひとつをとっても、俺が人生のあらゆることに責任を自覚するために欠かせないものになっている。そしてホームグループをもち、日々の黙想や運動をして、しっかり食事をする。それがみな、俺が学んでいくプロセスの一部になっている。俺は回復の道を歩むなかで、息子を2人亡くした。妻とは離婚し、一文無しになってしまったうえに、ガンの宣告を受けた。それでも、こうしたことはどれも、ふたたび使うことにはならなかった。そんなこと、俺は考えもしなかった。俺は回復の道を歩みつつもたびたび間違いをおかしたが、使わないことだけは間違なくできたんだ。俺は今、ありすぎるほどある自由な時間をNAのサービスにつぎこんでいる。ホームグループでのサービスはもちろん、スポンサーシップ、H & I（病院施設）やPR（広報）の活動、そしてエリアやリージョンのコンベンションなど、いろいろなサービスに積極的に関わっている。サービス活動やミーティングへの出席につきこむ時間は、ひとりでぼつんとしている時間よりずっと得るものが大きい。仕事や、人とのつきあいなど、きちんとしなければならぬことはいろいろあるが、それにかかり切って日々の生活からNAが抜け落ちてしまうと、俺は孤独におちいるんだ。これまでさまざまな状況を経験し、それを成熟の糧にできたのは、仲間のなかにいることやミーティングにきちんと出席することによってなんだ。回復の道を歩む仲間たちと席を並べ、自分の話をしてNAのステップを実行するとき、俺は向上心の塊になる。クリーンタイムを祝う日が近づくにつれて、俺は感情に流されやすくちよつとしたことでも傷つくようになるが、さらに大きく成長もする。そうして何年も経つうちには、仲間たちとスピリチュアルに交わっているという実感がとても強くなるため、そのなかの何人かは（2人の息子やその母親のように）すでに永

遠の眠りについたらとしても、遺品や思い出によって存在を感じ取る。

俺はN Aで学んでいくなかで、性的アイデンティティや人種、信条、宗教などがさまざまに異なる仲間や、人生について異なる考えをもつ人々とつきあえるようになった。そのだれもがみな、自分の与えられるもののなかで最高のものを与えてくれた。かつては自分でつかめなかった感情や感覚も、今の俺には感じることがができる。いろんなことをやったあげくだれからも相手にされなくなっていた人間が、今は何とかして回復の道を歩もうとしている。この道を行けば、毎日が経験と力と希望に満ち、それをわかちあえる仲間がいるんだ。

ホセ・R (プエルトリコ/コロザル)

## 砂嵐

ぼくは、昼のミーティングに出席するために車でハイウェイを南に向かっていった。西の方をみると、巨大な砂ぼこりの雲がたれこめている。西側の湖と町をすっぽりおおいつけて、東側にある町の方に広がっていく。あの雲に突っこんだら、さぞかし息苦しいだろうな。そんな想像はしたけど、砂ぼこりの雲とはくっきり分かれてきれいな空が見えているのに、わざわざ汚い空気を吸い込もうとするわけがない。東側の町が砂ぼこりの雲に飲み込まれてしまうなどという瞬間が訪れてほしくなかった。

ぼくは左に曲がり、砂嵐が向かっている方向に進んでいった。前方には見通しのいいきれいな空があった。ここよく晴れわたって嵐が迫っているようには思えないが、バックミラーには、うずまく砂ぼこりの雲がふくらみを増してどんどん近づいてくるのが見えた。まさに自然が猛威をふるって後ろから迫ってくる。ぼくは、その先手をとって、新鮮な空気のなかを走れる喜びをかみしめた。

だが、まてよ。自然はこうしてぼくの人生を映しだす鏡になってくれているんだ。ぼくは「正しい」方向に曲がり、それによって自分が進むべき道はこれしかないことがわかった。それで、長い間ぼくの人生に吹き荒れていた嵐のせいでダメになり、すさみきってしまった生活から抜け出すことができたんだ。だからもう、嵐とつかず離れずにいて巻きこまれることはない。嵐が迫っていても、それはバックミラー越しのことだった。

これから新しい生き方や人生観を見出そうとする矢先にこんな体験ができたのは、ラッキーと言うほかはないだろう。だって、ぼくはほとんどの場合、嵐の真っ只中にいて自分が巻きこまれていることすらわからないでいたんだ。それでも暴風圏

から外れている時期が何度かあったのに、それによってぼくの人生が「好転する」ことはなかった。そのときにはもうクスリに溺れてぼろぼろになり、生活もすさんで考えることもまともじゃなかったから、お先真っ暗だと気づくことができなかったんだ。そんなありさまでは、どこへ向かおうとしても結局は方向を誤ることになっただろう。むしろ砂嵐をめがけて真っ向から猛スピードで突っこんでいくことになるんだから、チリやホコリにまみれた八方ふさりの状態で、息をすることも生きることもままならず、いいことなど何もないだろう。

だけど、本当のことを言えば、砂嵐や、チリとホコリで汚れた雲や、荒れ狂う嵐がなかったとしても、ぼくはアディクションによって自分からその辺の野原に駆け寄り、思いっきり土や泥を蹴散らしてもうとうと土煙をあげることができただろう。そうなんだ。自然や人生が身を隠す雲を与えてくれなかったとしても、それならそれでぼくは自分の雲ができるまで蹴るのをやめなかっただろう。ぼくはずっと不健康さと惨めさにくるまれていようとしたんだ。

それでも、ぼくはついに息をするチャンスをつかみ、深呼吸をする。新鮮できれいな空気を吸い込んで、晴れ晴れとした気持ちになる。それは、砂嵐に背を向けるチャンスがきたときに、それをチャンスと感じとれる人ならだれでも味わえるものだ。アディクションという砂嵐に巻きこまれて生きていく方法は、前進すること以外にはないと、今のぼくにはわかっている。

ブルック・H (アメリカ合衆国/アリゾナ)

## 使わないで くつろぐひととき

はじめまして、あたしはアディクトのシャノン。ちょうど3年ぐらい前の今ごろに、N Aのキャンプのチラシがあたしのところへ舞い込んだの。そのとき、チラシをもってきた女性は「届けるべきところへ届けるものなのよ」と言った。それが今になって、「そういうチラシだから、あなたのところへ届いたんだわ」と言っている。当時のあたしは、N Aのことなんてまったくわからなかったし、自分の住んでいるところでミーティングをやっていたとしても知りようがなかった。それでも、あたしは違う生き方をしたいと思ってたのよね。そういうあたしのところへわざわざN Aのチラシを届けてくれる人がいるなんて、すごく感激したわ。それでちょっとの間、この女性と話すことができたんだけど、そのときの気持ちは説明がつかない。何しろ驚いたのよ。だって、会ったばかりなのに赤の他人とは思えなくて、昔からずっと知り合いだったような気がしたんだもの。

あたしは、チラシにあったN Aのキャンプに行っただけど、こんなことってあるんだって、本当に驚きだった。みんな、使わないで生きていたんだもの。それは自分が望んだことだし、それで何年もずっと使わないでいるんだって言った。(そんなこと、「はいそうですか」って信じたわけじゃないけどね)。現実にはありえないような気がしたわ。クリーンになるなんて不安でたまらないし、そもそも「ラリっていなくなったら、いったいどうすればいいのよ」。それ



は、キャンプで出会った人たちを見ればわかった。あたしは、この人たちのいる大きな町に引っ越してN Aの提案することをやった。1年ぐらいて元の町へ戻り、それからずっと悪戦苦闘している。この気持ちは言葉にしようがないけど、言葉にしなくてみんなにはわかるわよね。

それで、今夜は眠れなくてね。リビングルームに行って、Eメールをチャックしながらコーンフレークをむしゃむしゃ食べていたの。そしたら、インターネット版のN A Way マガジンの7月号が届いていて、それを読んでるうちにあたしもわかちあってみようという気になったの。さっきまで書いたことは全部本当のことだけど、でも、7月号を読んだときに感じた気持ちをまだ伝え切れてないわ。あたしは地元に戻ってしまったから、もうそれほど多くのミーティングに出られないし、だから7月号に関わりのある人ひとりひとりにお礼を言いたくなって思ったのよ。今夜は、N A Way マガジンにわかちあわれている記事を読んだおかげで、心おだやかに眠れると思うわ。こうやってソファにねそべっているところへ、世界中から希望が届けられたことで、明日もきっと「今日だけ」クリーンでいることができる。N Aの仲間たちがいなくなったら、どうなっていることやら。ありったけの愛を込めて、ありがとう！

シャノン・C (アメリカ合衆国ノアラスカ)



Reaching out is the beginning of the struggle that will set us free. It will break down the walls that imprison us.

[Basic Text, "Recovery and Relapse"](#)

Do you know about Reaching Out? This newsletter is distributed quarterly to nearly 4,000 inmates! It is also used by H&I committees, treatment centers, and addiction professionals as a valuable resource to carry our message of hope. We offer free subscriptions to incarcerated addicts and 20-copy bulk subscriptions for \$32.60 per year to committees.

Recently, we introduced a new section in Reaching Out, featuring original logos and artwork from inmates, H&I committees, and ASCs. We believe NA artwork carries a powerful, creative message of recovery. Share your logos and artwork or check out our latest issue at [www.na.org/?ID=reaching\\_out-index](http://www.na.org/?ID=reaching_out-index).

Please support this effort by subscribing and contributing your experience, strength, and hope. We are always looking for written submissions from those who have a passion for H&I service. We especially love to share the stories of members who found NA while incarcerated and are now recovering on the outside.

#### WE WANT TO HEAR FROM YOU!

Email: [handi@na.org](mailto:handi@na.org)  
Mail: Reaching Out  
c/o NA World Services  
PO Box 9999  
Van Nuys, CA 91409 USA

While attending WCNA 34 in San Diego, stop by the Reaching Out display in the NAWS onsite office to see Reaching Out artwork and pick up a free copy of the newsletter. We look forward to seeing you there.

.....  
Electronic subscribers  
can click here for an  
additional article.  
.....

# 「私たちの未来像」に投資しよう

## 「キャッシュレス」の時代に グループ献金するには？

・・・私たちは、まず自分が回復することでN Aに報いるが、それだけでなく、未来の仲間が回復の道を進めるようにすることによってもN Aに恩返しをするのだ。

IP # 24 『マネー・マターズ：セルフサポート イン N A』  
（『お金の問題：N Aの経済的な自立』）

これまで何回か連載してきた記事では、メンバーやグループがN Aという仲間の集まりを世界的規模でとらえて献金するという観点から、「N Aの未来像に投資する」ということを論じてきた。そのさいには、全体としてのN Aに献金するのはかなりむずかしいという地域のN Aを支援する必要性が、急速に増大していることについても書いた。そして、アディクトたちが回復を見いだすチャンスがない地域には必ずN Aグループができるようにし、その成長をしっかり支えていくために、N Aメンバーたちは何ができるかという問題もとりあげた。このような問題は、「世界中のアディクトがみな、自分の話す言葉でわかりやすく書かれたN Aのメッセージを目にする機会に恵まれ、それが新しい生き方に踏みだすきっかけになること」というN Aの理念の核心を突くものである。そこで、メンバーたちにはインターネットにあるN Aのポータルサイトを気軽に利用していただきたい。デビットカードやクレジットカードがあれば、このような理念の実現のために献金できるのだ。

N Aのために一生懸命サービスに関わっているメンバーならすでにわかっているように、N Aのサービスシステムによって私たちが目指すことを何から何まで実現しようとすれば、サービスの資金が必要になる。だが、過去数年にわたって世の中が徐々に変わりつつあり、それによってN Aメンバーたちの献金のし方も変わってきた。それなのに相も変わらず、創生期のN Aメンバーたちはミーティングで回される献金袋に1ドルを入れていたという話ばかりしている。しかし、これは1950年から60年ごろのことだ。今の1ドルで買えるものなどたかがしれている。N Aメンバーたちは与えることの幸せに気づけば、まず例外なく少しでも多く与えようとするものだし、これまでだって、そのような気づきが生まれるこ

とで惜しみなく与えるようになったメンバーはたくさんいた。そうやってメンバーたちがミーティングの献金袋に入れる金額が増え、地域のサービスは一段としっかり機能するようになる。

ただし、主要な通貨としてクレジットカードに依存するメンバーが増えつつあるのも事実で、それがN Aでの献金のあり方に別の変化をもたらしている。たしかに、クレジットカードがあれば何かと便利だ。ガソリンスタンドの支払いにしても、これまでの支払いをオンラインでもれなくチェックすることができるし、ミーティングの前にコーヒーを買うにしても、持ち合わせがあるかどうか気にしなくてすむ。

だが、そうなると、ミーティングで献金袋がまわってきても、片手にカフェラテをもちながらもう片方の手で献金袋をそのまま素通りさせるメンバーが出現するようなもので、お金は一銭も入らないことになる。

私たちの多くがそのような場に居合わせてきた。クレジットカードやデビットカード、インターネットやスマートフォンによる処理などに社会の依存度が高まるにつれて、N Aのグループがかつてと同じように同じだけ財政支援を受けることはますます困難になっていくだろう。たぶん、先週は現金をおろし忘れたメンバーだって、今日は忘れずにおろしてきたかもしれないが、そういうときに先週は献金袋にお金を入れたメンバーがふたりとも、今日はお金を忘れてしまったということだってあるだろう。だれも悪気はない。ど忘れすることなんて、だれにでもあるのだから。

N Aのこれまでの経験から、N Aメンバーたちがグループやエリアを破産するにまかせてしまうことなど、そうあることではないのがわかっている。月末になって、ミーティング会場の使用料を払うの

# 2011 Membership Survey

Every two years we attempt to gather information about our members, and the time to gather that information is now! Some may wonder why we want this information and how we use it. One of the aims of A Vision for NA Service is that NA is viewed as a “viable program of recovery.” With members from 42 countries attending the world convention in San Diego, and members around the world participating from their homes, we have an opportunity to demonstrate that we are, indeed, a viable and respected recovery community resource. Presenting ourselves in this way helps us offer hope to others that they, too, can recover.



We want you to join us in this survey. In 2009 we had nearly 13,000 members respond, and we believe we can survey 20,000 members this time. Together, we can let addicts know that we are recovering in Narcotics Anonymous and leading productive, responsible, fulfilling lives.

We are offering members four months to complete and return the survey either online or by fax or mail, or it can be filled out onsite at WCNA 34 in San Diego. We would like as many members as possible throughout NA worldwide to participate. We encourage each of you to spread the word of the survey to your member friends.

You can help by emailing the link for the online version or by distributing paper copies of the survey, collecting the responses, and mailing or faxing them to us.

To complete the survey online, go to

<http://www.na.org/survey>

The deadline for survey completion is 31 December 2011.



**1a. Country of residence** (Check **one** only)

- a.  USA
- b.  Norway
- c.  Canada
- d.  Brazil
- e.  Mexico
- f.  Sweden
- g.  UK
- h.  Other: \_\_\_\_\_

**1b. State/Province of residence** (if applicable)

\_\_\_\_\_

**2. Gender**

- a.  Male
- b.  Female

**3. Age** \_\_\_\_\_ years

**4. Race**

- a.  Black (of African descent)
- b.  White (Caucasian or of European descent)
- c.  Latino, Hispanic
- d.  Asian (including Indian subcontinent) or Pacific Islander
- e.  Indigenous
- f.  Multi-racial
- g.  Other: \_\_\_\_\_

**5. Highest educational level completed**

- a.  High school/Secondary school
- b.  Trade School/Two-Year Degree
- c.  College/University Degree
- d.  Advanced University Degree
- e.  None of the above

**6a. Employment status** (Check **one** only)

- a.  Homemaker (go to #7a)
- b.  Employed full-time
- c.  Employed part-time
- d.  Retired (go to #7a)
- e.  Unemployed (go to #7a)
- f.  Student

**6b. Primary type of work** (Check **one** only)

- a.  Manager/Administrator
- b.  Educator
- c.  Medical/Health Professional
- d.  Addiction Treatment Professional
- e.  Other Professional (government, finance, etc.)
- d.  Technical/IT Professional
- g.  Sales/Marketing
- h.  Craft worker/Artisan/Trade
- i.  Laborer/Service Industry
- j.  Clerical/Administrative Assistant
- k.  Transportation Industry
- l.  Other (including self-employed)

**7a. Do you have a sponsor now?**

- a.  Yes
- b.  No

**7b. Are you sponsoring others?**

- a.  Yes
- b.  No

**8. What service commitments do you have in NA?**

(Check **any** that apply)

- a.  Hospitals and institutions (H&I)
- b.  Public information (PI) and/or phoneline
- c.  Meeting (secretary, treasurer, coffeemaker, etc.)
- d.  Area service
- e.  Regional service
- f.  World service
- g.  None

**9. How often do you usually attend NA meetings?**

(Please answer **one** only)

- Weekly: \_\_\_\_\_ times
- Monthly: \_\_\_\_\_ times
- Yearly: \_\_\_\_\_ times

**10a. Do you attend meetings of any other twelve-step fellowships?**

- a.  Yes (If yes, go to #10b)
- b.  No (Go to #11)



**10b. Which twelve-step fellowships do you attend?**

(Check **any** that apply)

- a.  AA
- b.  CA
- c.  GA
- d.  OA
- e.  Nar-Anon
- f.  Al-Anon
- g.  Other: \_\_\_\_\_

**11. Do you have any family members in a twelve-step recovery program?**

- a.  Yes
- b.  No

**12a. Which one was your main drug used?**

(Check **one** only)

- a.  Alcohol
- b.  Cannabis (pot, hashish, etc.)
- c.  Cocaine
- d.  Crack
- e.  Ecstasy
- f.  Tranquilizers (Klonopin, Valium, Xanax, etc.)
- g.  Hallucinogens (LSD, PCP, etc.)
- h.  Inhalants (glue, nitrous oxide, etc.)
- i.  Opiates (heroin, morphine, etc.)
- j.  Opioids (oxycodone, Vicodin, fentanyl, etc.)
- k.  Stimulants (speed, crystal meth, etc.)
- l.  Methadone/Buprenorphine
- m.  Prescribed medication
- n.  Other: \_\_\_\_\_

**12b. What drugs did you use at any time on a regular basis? (Check any that apply)**

- a.  Alcohol
- b.  Cannabis (pot, hashish, etc.)
- c.  Cocaine
- d.  Crack
- e.  Ecstasy
- f.  Tranquilizers (Klonopin, Valium, Xanax, etc.)
- g.  Hallucinogens (LSD, PCP, etc.)
- h.  Inhalants (glue, nitrous oxide, etc.)
- i.  Opiates (heroin, morphine, etc.)
- j.  Opioids (Oxycodone, Vicodin, Fentanyl, etc.)
- k.  Stimulants (speed, crystal meth, etc.)
- l.  Methadone/Buprenorphine
- m.  Prescribed medication
- n.  Other: \_\_\_\_\_

**13. When is your clean date?**

\_\_\_\_\_

Month                      Day                      Year

**14. When was your first NA meeting?**

\_\_\_\_\_

Month                      Year

**15. Check the three most influential entities in your decision to come to your first NA meeting.**

(Please check only three)

- a.  NA member
- b.  NA literature
- c.  Correctional facility
- d.  Nar-Anon member
- e.  AA member or group
- f.  Treatment facility/counseling agency
- g.  Family
- h.  Non-NA friend or neighbor
- i.  Healthcare provider
- j.  Court order/drug court
- k.  Probation or parole officer
- l.  Employer or fellow worker
- m.  Newspaper, magazine, radio, or TV
- n.  Member of clergy
- o.  School counselor, teacher, or administrator
- p.  Other: \_\_\_\_\_







にグループの献金が少し足りないという事態が生じて、グループにひとりかふたり信頼される僕となるメンバーがいれば、懐をさぐって不足分を補おうとするからだ。そして、資金調達のためのイベントを後押しするメンバーたちがあられることで、そのエリアはH & I（病院施設）関連の文献を補充することができる。私たちは、そういうことを何度となく目にしてきた。NAメンバーたちは、NAのためになることに無関心ではない。だから、NAがよくなるためであれば、できるときにできることをしようとするのだ。

だからといって、いつものようにどうしようもなくなれば献金のあり方も変わるだろうと、手をこまねているわけにはいかない。もちろん、グループが必要な文献の購入や会場使用料の支払いに今のところ不自由しない状態であるなら、1カ月のうち1度ぐらい献金袋に入れるお金の持ち合わせがなかったとしても、どうということもないだろう。でも、献金袋の中に少しでも多くお金が入っていれば、グループは毎週のように、新しくつながったメンバーに『ベーシックテキスト』を一冊あげることで十分に行けるだろう。あるいはまた、ひとりひとりのメンバーがミーティングの前には現金を用意しておくことにし、もし用意しそこねた週があったら翌週にはいつもの倍を献金することを習慣にしてきちんと守っていれば、月末にはいつもグループ以外のさまざまなサービス活動にもっと献金を差し出すことができるかもしれない。そうやってエリアやリージョンに少しでも多くお金が集まれば、公共の

バスなどにP I（広報）のポスターを貼ったり、鉄格子の中にいるアディクトたちに一冊でも多くNAの文献を提供したりすることもできるだろう。

このように「私たちの未来像に投資する」ことはサービス全般に及ぶため、私たちが現金を重視しなくなっていくなかで、グループやサービス機関は自分たちが正常に機能するために必要な資源を欠かすことがないように、これからも注意をうながし続けることになる。それでも近い将来には、グループへの献金もわざわざ現金を使う手間を省いて、スマートフォンやインターネットによる代金支払いを利用してすます時代が来るかもしれないが、このような技術にもそれなりに乗りこえるべき問題が当然のように生じてくるのだから、便利だというだけで飛びついていいものかどうか、時間をかけて考えたいものだ。とりあえず今のところは、献金袋がまわってきたときに慌てないように、ひとりひとりがいつでも献金できる準備をしてミーティングに足を運ぶことでNAメンバーとしての役割を果たしていれば、「私たちの未来像に投資する」という取り組みに一役買うことができるのだ。

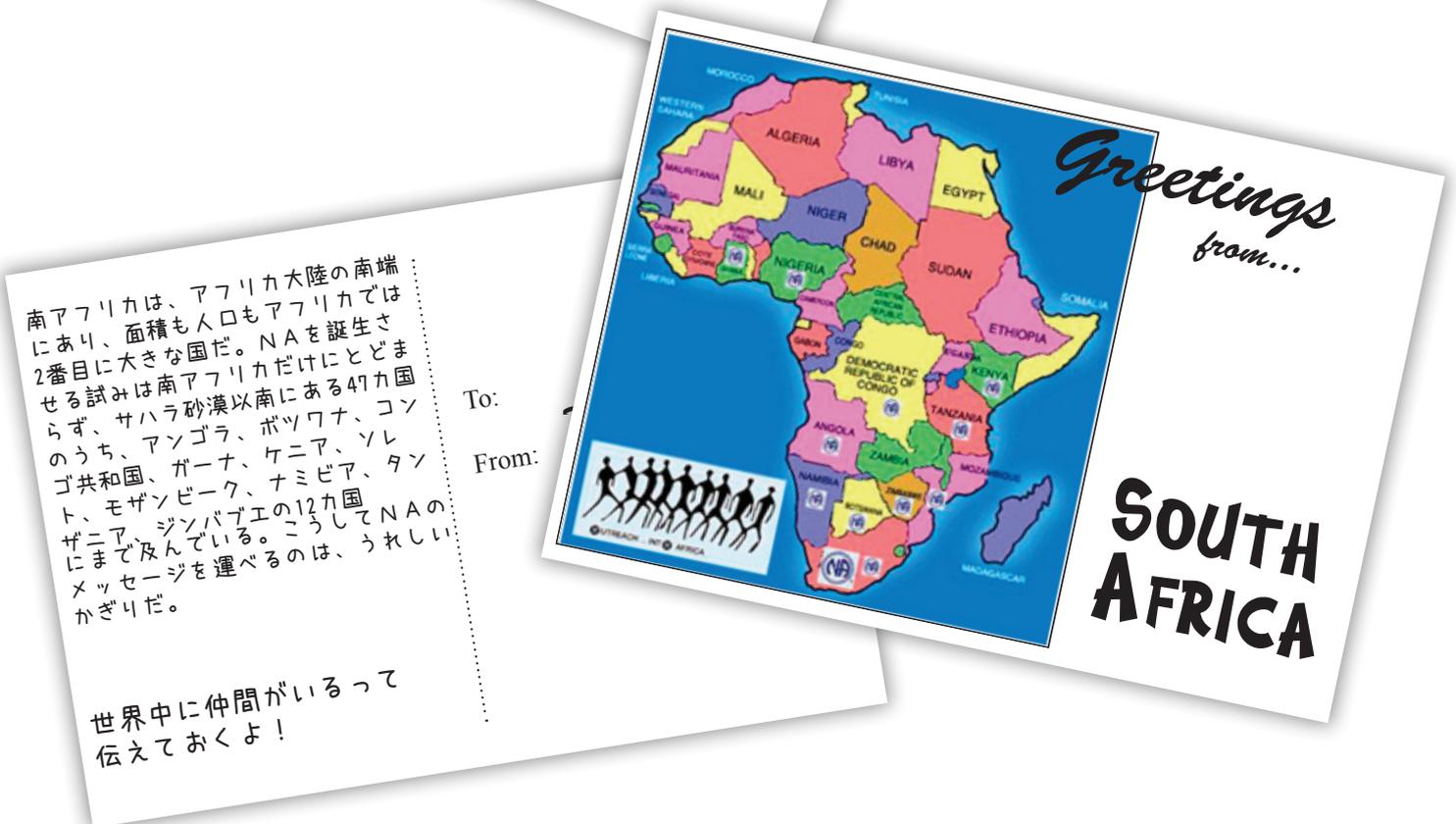


NAメンバーなら一度、NAワールドサービスに献金してみよう。もちろん、こちらでは一度と言わず、何度でも受けつけている。  
[www.na.org/na-donation-external-index](http://www.na.org/na-donation-external-index)

# 仲間たちの絵はがき



やあ、みんなの  
CCNA XIX (第19回NAカナダコンベンション)では、迎えられる仲間の数が300人までとなっている。今回の開催地セントジョンは、カナダ南東部のヘンリーナなんだ。ファンダイ湾のニューガルスウィック州側にある沿岸のニューで、オンタリオ州のトロントから遠く離れているため、貸し切りバスにゆられて16時間の長旅になるだろう。そうやって仲間たちが集まり、英語とフランス語で回復をわかちあうんだ。まさに「冒険はつづく」それが今回のテーマだ。



南アフリカは、アフリカ大陸の南端にあり、面積も人口もアフリカでは2番目に大きな国だ。NAを誕生させる試みは南アフリカだけにとどまらず、サハラ砂漠以南にある47カ国のうち、アンゴラ、ボツワナ、コンゴ共和国、ガーナ、ケニア、ソマリア、ジンバブエの12カ国にまで及んでいる。こうしてNAのメッセージを運べるのは、うれしいかぎりだ。

世界中に仲間がいるって伝えておくよ！

みなさん、こんにちは。日本では、7月の始めに JRCNA (第7回NA日本リージョナルコンベンション) が開かれ、520人の仲間が集まりました。ほかに、今回のコンベンションを物語る数字をあげてみましょう。

12: 国内の参加エリア数 (日本にあるエリアの総数)  
 3: 外国からの出席数 (韓国、オーストラリア、アメリカ合衆国)  
 1,350: コーヒーの杯数  
 600: 沖縄ドーナツの個数  
 400: アメリカドーナツの個数  
 5.6: バーベキューで使われた肉のキロ数  
 0: 仲間のあざさがしをしたメンバーの数

いちゃりばちよーでー\*



宛先  
NAの兄弟姉妹へ

※「いちゃりばちよーでー」は沖縄の古い言葉で、「一度会えばもう、みんな兄弟姉妹」という意味になる。

第七回 ナルコティクスアノニマス 日本リージョナルコンベンション  
 7TH JAPAN REGIONAL CONVENTION  
 OF  
 NARCOTICS ANONYMOUS

1st, 2nd & 3rd of July, 2011  
 沖縄コンベンションセンター 沖縄県宜野湾市真志喜4-3-1  
 OKINAWA CONVENTION CENTER, GINOWAN CITY, OKINAWA  
[www.jrcna7.org](http://www.jrcna7.org)

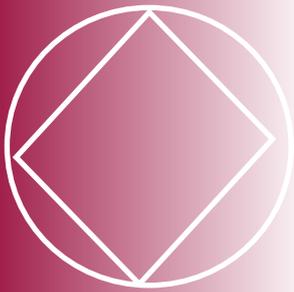
やあ、ひさしぶり。

ナルコスラビアでは、トロギ (クロアチア) でコンベンションが行われたばかりだ。みんな、まるでNAワールドコンベンションのようにひとつになりにきっていた。5年前に第1回目が開かれて以来、この旧ユーゴスラビア帯にNAが広がり、スロバニアもようやくナルコスラビアに加わった。これでナルコスラビアは名実ともにひとつのリージョンになったということで、今回のテーマは「心はひとつ」としたんだ。

宛先  
NAの仲間たちへ

このページに情報とアート作品を寄せてくれた仲間たち  
 ジュン・Yとスティーブ・S (日本/沖縄)  
 フェイク・G (英国/イングランド) と  
 イレーナ・S (セルビア/ベオグラード)  
 マーク・I (南アフリカ/ヨハネスブルグ)  
 ポール・(カナダ/ニューブルンスウィック)  
 みなさん、どうもありがとう!

.....  
 Electronic subscribers can  
 click here for a  
 World Unity Day article.  
 .....



# サービスシステム プロジェクト 最新情報

## NAのサービスシステムはどういうことになっているのか

NAのサービスシステムプロジェクトに関する最新情報は、NA Way マガジンを読んでいる仲間たちならこれまでの記事で知っているだろう。それによって、世界中で開かれたサービスシステムに関するいくつかのワークショップに出席できた仲間もいる。だからといって、記事を読んでもいないし、ワークショップにも参加できなかった（ぜひ、来てほしかった）という仲間たちも、がっかりすることはない。この記事を読めばプロジェクトの進行状況がわかるので、改革の流れに乗り遅れることはないだろう。

## 「サービスをシステム化する」とは、どういうことか

NAWS（NAワールドサービス）では過去3年の間に、サービスに関心のある仲間たちと、NAのサービスをシステム化することについて話しを進めてきた。そして、プロジェクトとワークグループの結成により、さまざまな成功例やアイデアが集められ、NAのサービスを再活性化させる改革案となるものが示されつつある。私たちの願いは、さまざまに異なる要素がひとつにまとまって機能するシステムをつくることによって、NAの第一の目的が達成しやすくなることである。単なるサービス機関の寄せ集めでは資源が不足しがちになり、共通の目的に向かって機能するのにもまとまりを欠くからだ。

これまでには、このプロジェクトによって「NAのサービスにたくす未来」という理念が生まれた。これは、世界中で行われるサービス活動に共通の目標を与えてやる気をうながそうとするものであり、2010年のカンファレンスアジェンダレポートに盛り込まれ、同年の世界サービスカンファレンスで満場一致により承認された。

このほか、サービスシステム改革案については2回にわたる草案のレポートが発表されている。このレポートにはシステムの活性化に向けたアイデアが満載されている。だが、システムを作りあげるとなれば、レポートや記事をいくら書いても書ききれないし、誌面にもかぎりがあがる。そこで、このプロジェクトから生まれたアイデアについて、世界中の仲間たちが協力して話し合いを続けていくようお願いしたい。実際に、一部の地域のNAでは、すでに改革案によって示されたアイデアのいくつかを試みられている。自分たちのNAでサービス提供を改善するにはどんなことが役立つと思うか、ぜひ、みなさんの意見をお聞かせいただきたい。

## プロジェクトの進行状況を知るには、どうすればよいか。

まずは、[www.na.org/servicesystem](http://www.na.org/servicesystem)にあるサービスシステムプロジェクトのページをご覧ください。プロジェクトの背景、「NAのサービスにたくす未来」という理念、改革案に関するレポート、プロジェクトの最新情報のほか、それぞれの地域のNAで自分たちなりにワークショップを開く際に役立つ資料の一覧など、プロジェクトについて知っておくべきことは全部、このページに掲載されている。

サンディエゴで開催されるWCNA 34（NAワールドコンベンション）では、ワールドボード主催の3つのフォーラムが開かれ、サービスシステムプロジェクトから生まれたアイデアについて徹底的に話しあうことになっている。まず、2つのフォーラムで改革案にあるアイデアを提示し、残る1つはこれまでに示されたアイデアへの質疑応答にあて、さらに突っこんだ話し合いとなる。コンベンションに集まる仲間は、ぜひ、参加していただきたい。

## これからどうなっていくのか。

2010年のカンファレンスアジェンダレポートには、システム改革案の根幹をなす一連の「原則的な合意」が盛り込まれることになっている。この原則的な合意がそれぞれCAR（カンファレンスアジェンダレポート）の動議で取り上げられることにより、グループは広く合意されている幅広い原則をひとつひとつ承認できるようになっている。この一連の合意が承認された場合には、何らかのワークグループにひきつぐためにワールドボードによってプロジェクトプランが示され、それによってプロジェクトは次の段階にはいる。こうして、私たちは共に歩みを進めていくのだ。

詳細や最新情報については、ウェブサイトをごらんいただきたい

[www.na.org/servicesystem](http://www.na.org/servicesystem)

# プランニングベーシックス (計画を立てることの基本)

NAという仲間の集まりの成長はとどまることをしらず、そのおかげで、NAで回復の道を歩む仲間が世界中で増えている。だからこそ、まだ苦しんでいるアディクにNAのメッセージをうまく運べるようにと取り組むなかで、私たちはプランニング(計画を立てること)の大切さを知った。そしてプランニングの重要性を説く最初の出版物は、NAで広く受け入れられて「エリアプランニングツール(エリアで計画を立てる道具)」となった。ここで紹介する新しいブックレット『プランニングベーシックス(プランニングの基本)』は、プランニングに関する最新の考え方をわかりやすく示すものである。まだ目にしたことがなければ、

[www.na.org/admin/include/spaw2/uploads/pdf/handbooks/Planning\\_Basics.pdf](http://www.na.org/admin/include/spaw2/uploads/pdf/handbooks/Planning_Basics.pdf) でご覧いただきたい。

私たちは、「エリアプランニングツール」によって効果が上がっているNAをはじめ、世界各地のNAが『プランニングベーシックス』を使いこなして効果的なサービスが提供できるようになることを願っている。『プランニングベーシックス』にあるさまざまなアイデアは、サービス機関で新しいプランニングのやり方をつくりだすことに活用したり、現在使われているやり方を合理化したりすることにも使えるからだ。このブックレットが出版されてすぐ、カロライナリージョンのリージョナルデリゲート(リージョンの代表)から、ワールドボードにEメールが届いた。そこにはごていねいな、「この本を実行に移すRSC(リージョナルサービスコミティ)の第1号に名乗りをあげさせてもらいたい」と書かれていた。カロライナリージョンでは、『プランニングベーシックス』の前書きに「なぜ、計画を立てるのか」として書かれている文章をそっくりそのまま、自分たちの方針に加えたのだ。このような反響があったことで、私たちは興奮を抑えきれない。このブックレットが、世界各地のリージョンやエリアで積極的に利用されていき、価値ある資源となっていくことを願うばかりだ。



**WHO PLANS?**  
Any member who wants to have more effective service efforts can plan. Planning can be done by groups, areas, regions, zones, committees, and world services.  
All members can participate in this process. Trusted servants and other members are encouraged to work together. This can include an administrative body, a workshop, experienced members, regional delegates, or any combination of trusted servants.  
At first, planning means we gather ideas and topics about services. It is important that we evaluate all the resources services provided by local supporters that we hope to and institutions, public information, religious, philosophical, and activities. We ask ourselves: Are these committees still providing relevant services, or simply doing what they have always done? We do not limit ourselves. We consider new ideas and existing areas of service that may need improvement. All viewpoints are taken into consideration. Our goal is a fresh exchange of thoughts and we can have fun! Service that is fun is attractive and members become enthusiastic in an enjoyable planning atmosphere.  
We begin by assigning a person or small group to coordinate planning efforts. This is a necessary piece of the planning process. We can all participate. An effective planning requires on others of a team leader or small workshop.

**MORE EFFECTIVE SERVICE THROUGH PLANNING**  
An effective service effort should be motivated by the desire to better carry out the mission of the NA to the suffering addict, but this requires more. A lack of financial resources within the service body members with the ability to purchase literature and deliver services.  
For example, group contributions funds. Due to the lack of effective planning by the service body, the NA committee has no literature to take into the substance abuse courts.  
As part of the planning process, the service body considers how much money is needed for literature. With a goal in mind, a budget can be created. This allows the body to identify how much each group needs to contribute monthly in order to make this a reality and then they can inform each group of the need. This is a planning action which helps to make certain that our literature continues to reach those seeking recovery who cannot attend a meeting, as well as professionals who interact with addicts.

**HOW DO WE PLAN?**  
Decide that planning is a priority. We can foresee the rewards and possible benefits of more effective services in an area, region, or zone.  
**Choose a workshop or coordinator.** Hold a discussion in the service body to determine whether a single coordinator or workshop may be best for planning. Workshops service experience and the ability to follow through are valuable qualities for a trusted servant who is going to take on this responsibility.  
**Gather ideas, topics, issues, and perceptions.** This is often referred to as "brainstorming." Planning is the process of looking within to examine the effectiveness of the services we provide and looking outside NA, to the larger community to see what we may be needed. With many members involved in gathering and generating input, we gain a broader perspective.  
**Collect all ideas and topics gathered and then brainstorm to clarify issues and identify anything that was missed.** This helps us to make sure we didn't overlook an idea or issue, and confirms that we all understand the identified areas.  
**Prioritize issues.** We cannot do everything we want to do at all times. Deciding what is most needed to provide better services is how we prioritize. Some items will typically emerge as high priorities. We examine all issues and decide their order of importance in best meeting the message of recovery.

**WHEN WE PLAN,** we are able to grow and change to meet the needs of our fellowship. If we want to continue to reach addicts with our message, we need to be flexible and willing to move forward on a path of planning.

**LOOKING AT OUR COMMUNITY...**  
We often work in isolation. How can we better understand how our larger community sees NA in order to help us reach addicts who we can provide with an opportunity for recovery? This type of system can be done a number of ways. Perhaps we use that professional education conference will be in our area. We can use this event to discuss our service approaches with other professionals and service providers. We can use this time to discuss our service approaches with other professionals. We want to share our perspectives of NA. We also plan to solicit information from social service agencies, treatment centers, and courts. We can use these opportunities to see how NA can be a resource for addicts in the community. We want to work together with other organizations in ways that are helpful for both. One of all the issues has been identified, it is time to get together to take some solutions.

## なぜ、計画を立てるのか

簡単に言えば、サービスは計画的に行う方が効果が上がるし、共通の目標に向かって取り組みやすくなるからだ。「NAのサービスにたくす未来」を忘れないでほしい。私たちはNAの回復のメッセージを運んでいるグループを支援するために、心をひとつにして協力し合い共に努力するのだ。

私たちは同じ目的を共有する。それは、NAの回復のメッセージをうまく運ぶことだ。NAのサービス活動にプランニングを用いるには、先を読み、準備に時間をかけ、さまざまな行動計画を作成して目指すべき目標に到達することが求められる。そしてまず、効果的なサービスをどこおこりなく提供できなくしている問題を明らかにしていくことが、プランニングに向かうきっかけになる。

『プランニングベーシックス』で論じられている重要な要素のひとつは、伝達事項を明確にすることとプランニングカレンダーを利用することである。メンバーたちはプランニングへの参加をもとめられることで、NAのサービス全般にプランニングがいかに影響するかを理解する。そして、現在使われている予定表を見直すことによって、プランニングによる取り組みが、ほかに進行中の活動と重なることがないように調整する。こうしていったん日程が確認されれば、話を聞いていないというメンバーがほとんどいなくなる。

『プランニングベーシックス』では、プランニングの最初の段階で詳しく調べたり、情報を収集したりすることの重要性を強調している。アディクトたちにNAのメッセージを運びたいという思いによって私たちの心はひとつになっているが、そのようなことを効果的に行うためには情報が必要なのだ。私たちは、NAの大きさにかかわらず、自分たちの地域にあるNAのサービ

Attending WCNA 34  
in San Diego?  
We invite you to attend  
a workshop focused  
on planning to discuss  
Planning Basics  
in more depth.  
We look forward to seeing  
you there!

スについて詳しく調べているメンバーたちを応援するために、さまざまなアイデアを提供している。世界中で仲間たちの周辺に起きている変化を考慮しながら、世界各地のNAグループにしっかり対応していくことを目指しているからだ。この段階になると、プランニングにはありとあらゆるメンバーが関わってくる。サービスに関わっているメンバー、かつてサービスに関わっていたメンバー、そしてサービスに関心のあるメンバーならだれもが無縁ではない。

『プランニングベーシックス』では、4回のプランニング会議で有効になる（効果的に完了する）手順を説明し、それによって「フィードバック・ループ」の重要性を浮き彫りにする。プランニング会議の初回は、詳しく調べることに重点を置く。これに対して2回目と3回目は、目標を定めて到達方法を考案し、行動計画を作成することに力を注ぐ。このようなアイデアは、いままでサービスに関わってきて『エリアプランニングツール』のことをよく知っているメンバーたちには、目新しいものではないだろう。ここで紹介される手順では、4回目の会議はモニタリングと評価に重点が置かれ、このことを「フィードバック・ループ」とも呼んでいる。これはきわめて重要な段取りでありながら、おろそかにされがちなものだ。プランニングのこの段階では、私たちは自問する。私たちの目標は達成されたか。私たちの計画は、意図したとおりに進んでいるか。ここで自分たちの行動計画の評価を見合わせてしまったら、順調に進んでいるかどうか、どうしてわかるというのだ。

みなさんも、NAのサービスにかかわるなかでプランニングにまつわる経験があれば、自由に語っていただきたい。

Eメールの宛先

[worldboard@na.org](mailto:worldboard@na.org)

お便りをお待ちしている

『プランニングベーシックス』

ブックレット購入

[www.na.org/?ID=](http://www.na.org/?ID=OrderLiteratureOnline-content)

[OrderLiteratureOnline-content](http://www.na.org/?ID=OrderLiteratureOnline-content)

『プランニングベーシックス』

ダウンロード

[www.na.org/admin/include/  
spaw2/](http://www.na.org/admin/include/spaw2/)

[uploads/pdf/handbooks/  
Planning\\_Basics.pdf.](http://www.na.org/admin/include/spaw2/uploads/pdf/handbooks/Planning_Basics.pdf)

## インターネット時代に適した サービスパンフレット

2010年のワールドカンファレンスでは、「ソーシャル ネットワーキング サイト（インターネットによる交流の場）」をテーマにした討論会が開かれ、このようなサイトが利用されるようになったことで、私たちが真剣に取り組まなければならない課題について実りのある話し合いが行われた。そして、インターネットを通じてメンバー同士や、メンバーと一般の人たちがやりとりをするときに、NAの原理がないがしろにされるのを防ぐため、サービスパンフレットをつくってメンバーたちにガイドラインを示すことになり、その草案が作られた。これは、このようなサイトの利用をうながすためでも、思いとどまらせるためでもなく、あくまでインターネットという環境の中で自分やほかのNAメンバーたちの匿名性を守る方法（や理由）となる考えをいくつか示すものでしかない。これまでも、NAでは「最良の方法」になるような提案がされてきた。このパンフレットも、インターネットによるやりとりをよく考えてみるうえで役立つ資源になれば幸いである。

なお、このパンフレットの草案は90日間にわたり、カンファレンスの出席者たちによって見直されることになっている。これはカンファレンスの意向を踏まえてのことだ。この見直し期間が終了したら（10月31日前後）、提供された意見にもとづいて最終校正に入る。それがすめば、NAの出版物となってみなさんにも読んでいただけるというわけだ。



## Do you have your copy yet?

The approval draft of

### “Living Clean: The Journey Continues”

is available for purchase (\$8.95, including shipping) or can be viewed at the link below.

The draft will be included as an addendum to the *Conference Agenda Report* for the 2012 World Service Conference, which will be released by 28 November 2011. WSC approval requires a two-thirds majority vote in favor by regional delegates. If approved, the book will be designated as “Fellowship-approved.”

**For additional information, please visit:**

[www.na.org/?ID=Living\\_Clean\\_Project](http://www.na.org/?ID=Living_Clean_Project)

## グループ紹介

NA Way では、さまざまな NA グループからミーティング会場の写真が送られてくるのをお待ちしている。ただし、集まっているメンバーがどこのだれとわかる写真はご遠慮いただきたい。なお、写真には、グループの名称、所在地および国名はもちろん、グループができてからのくらい経つのか、ミーティングの形式、そして「ウチのグループならではの」ことなど、グループの紹介文を添えていただくようお願いする。

## 親愛なる N A ワールドサービスのみなさんへ

あらためて言うまでもないことですが、ぼくたちがこうして元気に生きていられるのも、これまでと違う人生を歩み続けていられるのも、みなさんが骨身を惜しまないサービスを提供してくださるおかげです。そうやって自分を捨てて、世界に広がる N A のために尽す人たちがいなかったら、こうして Wisconsin の北に誕生した N A も文献を手にするにはおろか、成長もおぼつかなかったでしょう。みなさんの取り組みには心から感謝しています。おかげさまで、この「ウッズ アンド ウォーター エリア」には、36 のグループができました。そもそも、このエリアは地理的にも広大な地域で、ミシガン州との境にあるアッパー・ペニンシュラにそって西へミネソタ州との境までと、そこからさらに南へ約 140 マイルの広さがあります。面積にして 15,120 平方マイルに及び、いちばん大きな街の人口は 7,000 人です。

ぼくが住んでいるのは、人口が 3,000 人に満たないミノクアという町で、ひとつの島

にあります。ミノクア グループでは、ぼくの家から 10 分以内のところまで毎週 10 回のミーティングを開いています。どのミーティングも盛況で活気に満ちていることから、ミノクアではナルコティクス アノニマスという仲間の集まりが存在感を増していると言ってもいいでしょう。ミノクア グループにはこじんまりしたクラブハウスがあり、週 4 回のミーティングや、小委員会が開かれるほか、仲間の交流の場にもなっています。21 年前にぼくがここに移ってきたときには、リカバリーミーティング（回復をわかちあうミーティング）が 1 つしかなく、それも最初の 1 時間が A A（アルコホリクス アノニマス）ミーティングで、次の 1 時間が N A ミーティングというふうになっていました。

この「ウッズ アンド ウォーター エリア」では、年 1 回、「ジャーニーズ コンベンション」と呼ばれるコンベンションを主催していて、それが毎年 6 月にミノクアで開かれることになっています。このときには、この島に 400 人以上のアディクトが集まるのです。今年は、第 10 回の「ジャーニーズ コンベンション」を終えたばかり。今回は、湖上で 28 の

ワークショップ（カヤックで島に渡る日の出のワークショップ、はしけのワークショップ、蒸気船でのワークショップなど）が開かれたほか、ハイキングやサイクリングによる屋外でのワークショップや、いつものように室内でのワークショップも行われました。そしてコンベンションには、コンサート会場が 4 つとによるミーティング会場が 3 つ用意されま

ズ（旅人たち）」の集まる週末には、この  
ランド・W（アメリカ合衆国/Wisconsin）



て、コン  
メイン・スピーカー  
した。こうして「ジャーニ  
島が盛りあがるというわけです。



# カレンダー

## Bermuda

Southampton 16-18 Sep; Bermuda Islands Area Convention 7; Fairmont Southampton Princess, Southampton; [www.nabermudaconvention.com](http://www.nabermudaconvention.com).

## Brazil

Belem, PA 10-13 Nov; Belem Area Sozinho Nunca Mais Convention 4; Parque dos Igarapes Eco Resort, Belém, PA; event info: [tatinunes75@yahoo.com.br](mailto:tatinunes75@yahoo.com.br)

## Canada

British Columbia 23-25 Sep; British Columbia Regional Convention 28; Roundhouse Community Centre, Vancouver; <http://convention.bcrna.ca/>

New Brunswick 14-16 Oct; Canadian Convention 19; Delta Brunswick Hotel, Saint John; [www.canadianconvention.com](http://www.canadianconvention.com)

Quebec 7-9 Oct; Quebec Regional Convention 24; Sheraton Laval Quebec, Laval; [www.naquebec.org/crqna/index.html](http://www.naquebec.org/crqna/index.html)

## Costa Rica

San José 6-9 Oct; Costa Rica Regional Convention 16; Crowne Plaza San José Corobici, San José; event info: [infoconve@nacostarica.org](mailto:infoconve@nacostarica.org); speaker tape deadline: 15 Sep

## India

West Bengal 11-13 Nov; Kolkata Area Convention 7; Mandarmoni, Kolkata; [www.nakolkata.org/](http://www.nakolkata.org/)

## Ireland

Waterford 28-30 Oct; Ireland Regional Convention 26; Waterford City Tower Hotel, Waterford; speaker tape deadline: 30 Sep; [www.na-ireland.org](http://www.na-ireland.org)

## Mexico

Tijuana 30 Sep-2 Oct; Baja Coast Area Convention 19; Grand Hotel, Tijuana; hotel rsvns: USA 866.472.6365; Mex 664.681.7000; event info: 664.346.5565; speaker tape deadline: 15 Sep

## Nepal

Butwal 25-28 Nov; First Lumbini Area Convention; Thakali Samaj Ghar, Butwal; event info: 977.9806966410; speaker tape deadline: 30 Sep

## Norway

Oslo 28-30 Oct; Norway Region East Back2Basic Convention 18; Marienlyst Skole, Oslo; [www.ooskkonvent.com](http://www.ooskkonvent.com)

## Turkey

Fethiye 14-16 Oct; Turkey Area Convention 9; Orient Hotel, Fethiye; [www.na-turkiye.org](http://www.na-turkiye.org)

## Uruguay

Florida 14-16 Oct; Uruguay Regional Convention; Complejo Paso Severino, Paso Severino, Florida; [www.na.org.uy](http://www.na.org.uy)

## United States

Alabama 16-18 Sep; Alabama NW Florida Region Spiritual Retreat;

Cheaha State Park Bald Rock Lodge, Delta; [www.alnwfl.org](http://www.alnwfl.org)

Alaska 7-9 Oct; Alaska Regional Convention 27; Challenger Center, Kenai; [www.akna.org](http://www.akna.org)

California 23-25 Sep; Area de Habla Hispana Sur de California Convención 6; Double Tree, Culver City; [www.todayna.org/espanol.html](http://www.todayna.org/espanol.html)

2) 14-16 Oct; San Francisco Area Rainbow Convention 16; Whitcomb Hotel, San Francisco; [www.sfna.org/rainbow.html](http://www.sfna.org/rainbow.html)

3) 25-27 Nov; Southern California Regional Convention 32; Ontario Convention Center, Ontario; [www.todayna.org/convention/](http://www.todayna.org/convention/)

Connecticut 4-6 Nov; First Westchester Area Convention; Stamford Plaza, Stamford; [www.wacna.org/](http://www.wacna.org/)

Florida 23-25 Sep; First Coast Area Convention 11; Sawgrass Marriott Resort & Spa, Ponte Vedra Beach; [www.firstcoastna.org/announcements.htm](http://www.firstcoastna.org/announcements.htm)

2) 30 Sep-2 Oct; Tampa Funcoast Area Convention 27; Embassy Suites USF campus, Tampa; [www.tampa-na.org](http://www.tampa-na.org)

3) 28-30 Oct; Treasure Coast Area Convention 5; Marriott Hutchinson Island, Stuart; [www.treasurecoastareana.com](http://www.treasurecoastareana.com)

4) 4-6 Nov; Greater Orlando Area Unidos en Recuperación 7; Ramada Gateway, Kissimmee; speaker tape deadline: 1 Sep; [www.orlandona.org](http://www.orlandona.org)

5) 11-13 Nov; Gulf Coast Area Rainbow Weekend 14; Fort Lauderdale Marriott North, Fort Lauderdale; [www.rainbowweekend.org/](http://www.rainbowweekend.org/)

Georgia 27-30 Oct; West End Area Anniversary 25; Holiday Inn & Conference Center, Atlanta; event info: [jordandonald@bellsouth.net](mailto:jordandonald@bellsouth.net);

Hawaii 27-30 Oct; Hawaii Regional Convention 19; Ala Moana Hotel, Honolulu; [www.na-hawaii.org](http://www.na-hawaii.org)

Idaho 28-30 Oct; Pacific Northwest Convention; Double Tree Boise Riverside, Boise; event info: 208.571.6040

Illinois 21-23 Oct; Chicagoland Hispanic Metro Area Convention 2; Midway Marriott, Chicago; [www.chicagona.org/chana](http://www.chicagona.org/chana)

2) 28-30 Oct; Joliet Area Convention; Oak Brook; [www.chicagona.org](http://www.chicagona.org)

3) 4-6 Nov; Greater Illinois Regional Convention 15; Hawthorne Suites, Champaign; [www.centralillinoisna.org](http://www.centralillinoisna.org)

Kentucky 5-7 Oct 2012; Bluegrass-Appalachian Regional Convention 5; Cumberland Falls State Resort Park, Corbin; [www.nakentucky.com/](http://www.nakentucky.com/)

Maryland 16-18 Sep; Tri-County Area A River of Hope 5; Lions Camp Merrick, Nanjemoy; event info: 301.751.1388

2) 28-30 Oct; Ocean Gateway Area Convention 14; Clarion Fontainebleau Resort, Ocean City; speaker tape deadline: 22 Sep; [www.ogana.org](http://www.ogana.org)

Massachusetts 17-18 Sep; South Shore Area Dinosaur Day 2; First Evangelical Lutheran Church, Brockton; [www.gpana.org](http://www.gpana.org)

2) 30 Sep-2 Oct; Berkshire County Area Convention 4; Jiminy Peak Mountain Resort, Hancock; event info: 413.841.7315

Minnesota 7-9 Oct; Inner Cities Unity Convention; Hyatt Hotel, Minneapolis; [www.icucweb.com](http://www.icucweb.com)

Mississippi 7-9 Oct; Mississippi Regional Convention 28; Clarion Inn and Summit Center, Tupelo; event info: 662.255.7570

Missouri 18-20 Nov; Saint Louis Area Convention 6; Sheraton Westport Lakeside Chalet, Saint Louis; [www.slacna.com/](http://www.slacna.com/)

Nebraska 30 Sep-2 Oct Nebraska Regional Convention 28; New World Inn & Conference Center, Columbus; [www.nebraskana.org](http://www.nebraskana.org)

Nevada 4-6 Nov; Sierra Sage Regional Convention 16; Grand Sierra Resort & Casino, Reno; speaker tape deadline: 1 Oct; www.sierrasagena.org/ssrcna.html

New Jersey 18-20 Nov; Greater Atlantic City Area Convention 3; Sheraton Atlantic City, Atlantic City; event info: 609.334.9932

Ohio 23-25 Sep; Springfield Area Convention; Quality Inn & Conference Center, Springfield; event info: 937.926.9322

2) 25-27 Nov; Get Honest/Saturday Noon Group Unity Weekend 2; Kings Island Conference Center, Cincinnati; event info: 513.687.9278; speaker tape deadline: 1 Oct

Oklahoma 28-30 Oct; Plains Area United States Fellowship Assembly;

Select Tulsa, Tulsa; www.usfellowshipassembly.org/

Pennsylvania 18-20 Nov; Tri-State Regional Convention 29; Sevens Springs Mountain Resort, Seven Springs; www.tsrsca.org

South Carolina 25-27 Nov; Port City Area Convention 2; Marriot, Charleston; www.portcityna.com/

South Dakota 16-18 Sep; South Dakota Regional Convention 14; Ramkota Best Western, Rapid City; sdrna.com

Tennessee 23-27 Nov; Volunteer Regional Convention 29; Marriott, Knoxville; event info: 865.724.4329

Texas 23-25 Sep; Hourglass Group Serenity in the Sand; Travel Lodge,

## NAWS PRODUCT UPDATE

### Miracles Happen

In our efforts to make this beautiful book more reasonably priced, we are introducing a softcover version packaged with a bonus audio CD featuring a few early recordings of Jimmy K.

Item No. 1121 Price US \$10.00



### New and Improved Acrylic Medallion Holder

New design includes pin-closure and three interchangeable, 2-sided artwork backgrounds, with recovery language like serenity, love, courage, etc. Displays front and back of medallion.

Item No. 6099 ~~Price US \$25.00~~ Price Cut! \$18.00



### Danish

#### Group Reading Cards – Set of Seven

Updated to include “We Do Recover” reading in the set.

Item No. DK-9130 Price US \$4.20



### German

Information about NA

#### Informationen über NA

Item No. ZPRGE1002 Price US \$0.26

### Finnish

*Disruptive and Violent Behavior*  
**Häiritsevä ja väkivaltainen käyttäytyminen**

Item No. FI-2204 Price US \$0.22



### Hebrew

*The NA Step Working Guides*  
**המדריך לעבודת הצעדים במכורים אנונימיים**

Item No. HE-1400 Price US \$7.70



IP No. 13

**Nuorilta addikteilta, nuorille addikteille**

Item No. FI-3113 Price US \$0.28

### Hungarian

IP No.16

**Az újonnan érkezőnek**

Item No. HU-3106 Price US \$0.22

Information about NA

#### Információ az NA-ról

Item No. ZPRHU1002 Price US \$0.26





## Italian

*Just for Today*

***Solo per oggi***

Item No. IT-1112 Price US \$8.10



## Latvian

IP No. 5

***Cits skatījums***

Item No. LV-3105 Price US \$0.22

IP No. 11

***Sponsorēšana***

Item No. LV-3111 Price US \$0.22



## Coming soon

For release dates, please check our online Product Catalog:

[www.na.org/?ID=catalog-products](http://www.na.org/?ID=catalog-products)

## Tri-Plate Medallions

To celebrate recovery milestones, four new striking color combinations will be available in September in 18 months, 1 through 50 years, and eternity:

Translucent Green/Pearl/Black

Item No. 6100 series

Orange/Black/Pearl

Item No. 6900 series

Violet/Pearl/Black

Item No. 6800 series

Gold/Pearl/Black

Item No. 6700 series

Price US \$21.30



## **Polish**

Basic Text (Fifth Edition)

***Anonimowi Narkomani***

Item No. PL-1101 Price US \$7.50



## **Swedish**

Basic Text Sixth Edition

***Anonyma Narkomaner***

Item No. SW-1101 Price US \$11.00



## **Filipino**

*An Introductory Guide to NA*

***Isang Pangunahing Gabay sa Narkotiko Anonimo***

Item No. FL-1200 Price US \$1.80

